

<アンケート結果に対する討議概要>

Q1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

(運動のスペースはもう少し広いと思います)

A1 令和1年7月中旬を目途に、運動スペースを若干拡張する予定です。利便性は若干、拡大すると想定していますが、引き続き療育上の工夫や検討を続けてまいります。

Q2 放課後児童クラブや児童間との交流や障害のない子供と活動する機会があるか

A2 当事業所自体が、いわゆる“預かり型”ではないこと、さらに未就学児にあっても、積極的に「就園」を勧めています。したがって、事業所が場として定型発達等の児童との交流の場として開かれてはいません。課題を抱えた児童に対する最良の集団環境とは、幼稚園・保育所・義務教育の場であるという方針は強く保持しています。なお、学童保育の現場との連携も少しずつ実践しております。

Q3 研修会の頻度を増やしてほしい

A3 前年度（平成30年度）実績で、夏・秋・冬に年間3回の保護者主体の研修会等を開催いたしました。療育開始直後の保護者の方は、参加経験がない方が多いため、未実施のイメージもあるやもしれません。さらに開催頻度も検討してまいります。

Q4 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか

A4 開設時よりホームページは運用してきたが、法人全体のホームページに包含されていたため、必要に応じて会報等を通じて、情報更新時には直接閲覧可能なバーコードやアドレスの開示を行ってきた。さらに今年度は集団療育のスケジュールや概要も毎月更新してきた。さらに内容の充実と頻度の勘案を行っていきます。

Q5 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか

A5 それぞれ策定は、なされているが、保護者に対して十分な開示と説明は不十分であった。新規利用者の保護者へは、契約時に説明を加えている。

Q6 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか

A6 法人全体として、さらに集団療育等の場にて定期的実施しているが、十分な保護者の認識につながっていないことが示唆された。今年度も引き続き、広報誌などを活用して訓練の実績を伝えていくこととした。